

# Jean-Pierre Melville,

レジスタンス、犯罪、友情、そして裏切り——  
“闇”のフランスを描いた映画作家

## cinéaste du noir

展覧会 生誕100年

# ジャン=ピエール・メルヴィル、 暗黒映画の美

2017.9.26(四)→12.10(日) 月曜日は休室です。

東京国立近代美術館フィルムセンター 展示室(7階)

開室時間:午前11時—午後6時30分(入場は午後6時まで)

料金:一般250円(200円)/大学生・シニア130円(60円)/高校生以下及び18歳未満、障害者(付添者は原則1名まで)、MOMATパスポートをお持ちの方、キャンパスメンバーズは無料

\*料金は常設の「日本映画の歴史」の入場料を含みます。

\*()内は20名以上の団体料金です。\*学生、シニア(65歳以上)、障害者、キャンパスメンバーズの方はそれぞれ入室の際、証明できるものをご提示ください。

\*フィルムセンターの上映企画をご覧になった方は当日に限り、半券のご提示により団体料金が適用されます。

主催:東京国立近代美術館フィルムセンター、ノクテルヌ・プロデュクション

協力:アンスティチュ・フランセ日本/フランス大使館、KADOKAWA、マーメイド・フィルム、PFF(びあフィルムフェスティバル) 協賛:エルメスジャパン株式会社

東京国立近代美術館ホームページ <http://www.momat.go.jp/>



# Jean-Pierre Melville, cinéaste du noir



## アラン・ドロンを“サムライ”にした男

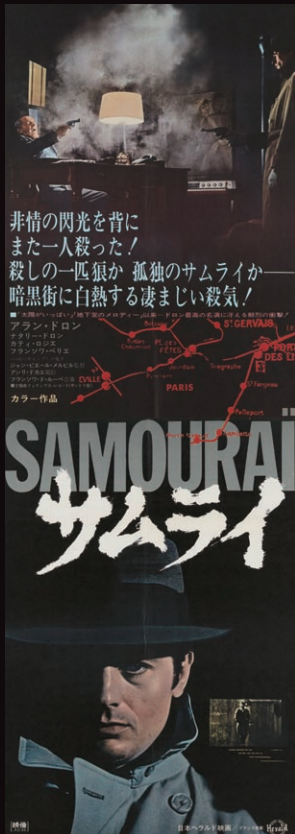
監督ジャン＝ピエール・メルヴィル、その名はフランス映画の歴史の中でも特別な輝きを放っています。少年期からアメリカ映画に傾倒、助監督修業を経ずにまったくの自主製作で長篇デビュー作『海の沈黙』(1949年)を送り出したメルヴィルは、ジャン・コクトーの依頼による『恐るべき子供たち』の映画化(1950年)などで頭角を現し、そのインディペンデント魂は若きヌーヴェル・ヴァーグの監督たちから敬愛されました。

やがて優れた暗黒映画の作り手として認められ、『いぬ』(1962年)、『ギャング』(1966年)、『サムライ』(1967年)、『仁義』(1970年)といった硬質の犯罪映画、そして対独レジスタンス経験に根差した戦争大作『影の軍隊』(1969年)などはフランス映画に一時代を築きます。とりわけジャン＝ポール・ベルモンド、アラン・ドロンという二大スターは、メルヴィル作品とともに新境地を開いたと言っても過言ではありません。善悪を合わせ持った複雑な人間像を描き出し、男たちの絆と

裏切りをドラマに塗り込めたメルヴィルは、日本を含む現代のアジア映画にも強い影響を与えています。

メルヴィルが生誕100年を迎えるこの2017年、フィルムセンターは、ドキュメンタリー『コードネームはメルヴィル』(2008年)の監督オリヴィエ・ポレール氏が長年収集してきた資料を中心にその孤高の生涯と業績を振り返ります。PFFや角川シネマ新宿での代表作の上映、アンスティチュ・フランセ東京での上映やイベントと併せ、メルヴィルの“黒”の世界に触れてみてください。

写真(左上から右下)『海の沈黙』(1949年)撮影中のスナップ  
『恐るべき子供たち』オリジナル・ポスター(1950年)  
『賭博師ボブ』オリジナル・ポスター(1955年)  
『影の軍隊』日本版ポスター(1970年)  
『サムライ』日本版ポスター(1968年)  
『恐るべき子供たち』(1950年)ニコル・ステファヌとエドゥアール・テルミット  
『いぬ』(1962年)撮影中のメルヴィル(右)とセルジュ・レジアニ  
『仁義』日本版ポスター(1970年)



# Jean-Pierre Melville, cineaste of noir

## トークイベント

9月30日(土)  
ノワール映画の系譜  
—フランスから香港へ  
野崎敦氏(東京大学文学部教授)

11月4日(土)  
メルヴィル再発見  
—生誕100年を迎えて  
オリヴィエ・ポレール氏  
(本展企画者、記録映画『コードネームはメルヴィル』監督)

12月2日(土)  
メルヴィル映画の思い出とその影響  
小林政広氏(映画監督)

\*詳細は後日ホームページなどでお知らせいたします。

## 関連企画

上映 第39回PFF(ぴあフィルムフェスティバル) 何度でも!メルヴィル  
会期:9月16日(土)~9月29日(金)『ギャング』ほか5作品を上映  
会場:東京国立近代美術館フィルムセンター

上映・シンポジウム  
ジャン＝ピエール・メルヴィル生誕百年 関連上映・シンポジウム  
会期:11月4日(土)~11月5日(日)  
会場:アンスティチュ・フランセ東京(飯田橋)  
主催:アンスティチュ・フランセ日本

上映 ジャン＝ピエール・メルヴィル特集  
会期:11月15日(土)~11月21日(金)  
『いぬ』『影の軍隊』『仁義』ほか代表作を上映  
会場:角川シネマ新宿  
提供:アンスティチュ・フランセ日本、マーメイド・フィルム  
配給:コピアボア・フィルム

\*詳細は後日各企画のチラシ、ホームページなどでお知らせいたします。



〒104-0031  
東京都中央区京橋3-7-6  
お問い合わせ:ハローダイヤル 03-5777-8600  
東京国立近代美術館ホームページ  
<http://www.momat.go.jp/>

NFC 東京国立近代美術館フィルムセンター  
**National Film Center**  
The National Museum of Modern Art, Tokyo

交通  
東京メトロ銀座線京橋駅下車、出口1から昭和通り方向へ徒歩1分  
都営地下鉄浅草線宝町駅下車、出口A4から中央通り方向へ徒歩1分  
東京メトロ有楽町線銀座一丁目駅下車、出口7より徒歩5分  
JR東京駅下車、八重洲南口より徒歩10分

長瀬映像文化財団  
フィルムセンターは長瀬映像文化財団の支援を受けています。

